【連絡先】滋賀県衛生科学センター健康科学情報係
【電話】077-537-7438　【E-mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp
イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ＆クミ」

滋賀県感染症発生動向調査　感染症週報

2019 年第 30 週（7/22～28）【概要版】

2019 年 8 月 1 日発行　滋賀県感染症情報センター

1. コメント

（1） 夏季に子どもを中心に増加する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）は、減少していますが、30 週も高い値で推移しています。
（2） 手足口病は県内全域に警報発令中です。患者は特に 1 歳と 2 歳で多く報告があります。
（3） 伝染性紅斑は県内全域に警報が発令されています。滋賀県の定点当たり報告数は全国で 2 番目の高値を示しています。大津市、草津、甲賀、東近江と高島保健所管内で警報状態にあります。
（4） ヘルパンギーナは、草津と高島保健所管内で警報状態が継続しています。
（5） 食中毒注意報が発令されています（7/30(火) ～ 8/5(月)）。

2. 報告数が多かった定点把握疾患（五類感染症）（i）

（1） 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別（iv）						
	2週前	1週前	今週	警報注意報（ii）	例年より多い（iii）	例年より非常に多い（iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
手足口病	17.59	13.22	11.75	警	○		警	警	警	警	警	警	警
伝染性紅斑	2.09	1.88	2.56	警	○	○	警	警	警	警			警
ヘルパンギーナ	3.06	2.81	2.41					警		↑			警
感染性胃腸炎	3.97	3.06	2.25				多	↑			多	多	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.41	1.31	1.03		○		多			多	多		

（2） 前週の全国および近隣府県の状況（下線; 滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
手足口病	12.01	13.22	6.01	6.66	***14.39***	***13.25***	9.84
伝染性紅斑	0.90	1.88	1.29	1.23	0.74	0.87	0.66
ヘルパンギーナ	2.54	2.81	1.89	0.96	2.35	1.79	2.77
感染性胃腸炎	***3.38***	3.06	***3.78***	2.78	***3.96***	2.02	***4.25***
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	***1.51***	1.31	***1.80***	1.00	***1.35***	0.58	***1.36***

3. 全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より多い（iii）	例年より非常に多い（iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	3	2	5	○			1		3			1
三類	後天性免疫不全症候群	0	0	1				1					
五類	アメーバ赤痢	2	0	1	○			1					
五類	百日咳	4	4	1	−	−				1			

i. 定点把握疾患：人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
ii. 警；警報発令、注；注意報発令
iii. 今週の値が過去 5 年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値＋2×標準偏差」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記（定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用）、百日咳は 2018 年より全数把握とされているため、本標記対象から除外
iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注 ; 注意報基準値を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

【連絡先】滋賀県衛生科学センター 健康科学情報係
【電話】077-537-7438　【E-mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

滋賀県感染症発生動向調査　感染症週報

2019 年第 30 週（7/22～28）【詳細版】

2019 年 8 月 1 日発行　滋賀県感染症情報センター

1. コメント（概要版より再掲）

(1) 夏季に子どもを中心に増加する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）は、減少していますが、30 週も高い値で推移しています。
(2) 手足口病は県内全域に**警報**発令中です。患者は特に 1 歳と 2 歳で多く報告があります。
(3) 伝染性紅斑は県内全域に**警報**が発令されています。滋賀県の定点当たり報告数は全国で 2 番目の高値を示しています。大津市、草津、甲賀、東近江と高島保健所管内で警報状態にあります。
(4) ヘルパンギーナは、草津と高島保健所管内で警報状態が継続しています。
(5) 食中毒注意報が発令されています（7/30(火) ～ 8/5(月)）。

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たり報告数（全国は前週の値） [i, ii, iii, iv]

定点区分（定点数）	疾病名	滋賀県						保健所別（iv）							全国（前週）（iv）	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報注意報（ii）	例年より多い（iii）	例年より非常に多い（iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		警報開始	警報終息	注意報
インフルエンザ（定点数:53）	インフルエンザ	0.09	0.06	0.08		○		0.09	0	0.14	0	0.14	0.14	0	0.19	30	10	10
小児科（定点数:32）	RSウイルス感染症	0.16	0.19	0.28		○	○	0	0.33	0	0.40	0.75	0	1.00	0.66	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.94	0.88	0.72		○		0.43	***1.50***	0	2.00	0	0	0.50	0.47	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.41	1.31	1.03		○		1.86	1.00	0.50	1.40	1.25	0	0	1.51	8	4	—
	感染性胃腸炎	3.97	3.06	2.25				4.29	0.83	0.25	2.20	3.50	2.50	0.50	3.38	20	12	—
	水痘	0.09	0.09	0.19				0	0.33	0.25	0	0.25	0.25	0.50	0.28	2	1	1
	手足口病	17.59	13.22	11.75	警	○		***7.00***	***12.33***	***16.00***	***27.60***	***3.00***	***3.25***	***13.00***	12.01	5	2	—
	伝染性紅斑	2.09	1.88	2.56	警	○	○	***2.57***	***3.17***	***3.25***	***5.00***	0.50	0	***2.50***	0.90	2	1	—
	突発性発しん	0.25	0.16	0.44		○		1.14	0.33	0.25	0.40	0	0.25	0	0.41	—	—	—
	ヘルパンギーナ	3.06	2.81	2.41				2.14	***2.50***	0.75	1.60	2.25	0.75	***12.00***	2.54	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.13	0.03	0.03				0.14	0	0	0	0	0	0	0.10	6	2	3
眼科（定点数:8）	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0.25	0.38	0				0	0	0	0	0	0	0	0.62	8	4	—
基幹（定点数:7）	細菌性髄膜炎	0	0.14	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.04	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.16	—	—	—
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.05	—	—	—
	インフルエンザ（入院例に限る）	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—

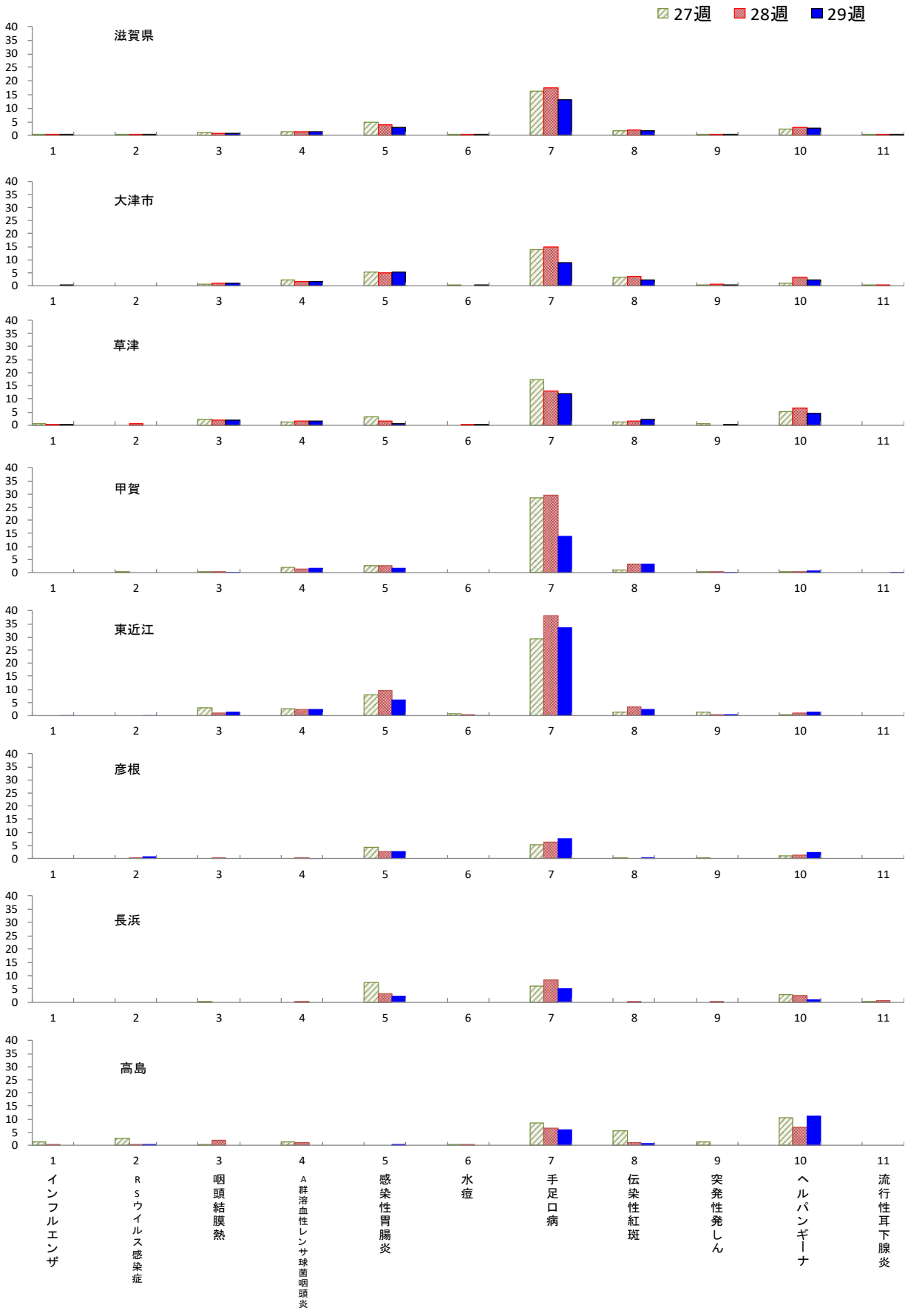
[i] 定点把握疾患：人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

[ii] 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令（「警」）します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報（「注」）を発令します。

[iii] 今週の値が過去 5 年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値＋2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記（定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用）

[iv] ***赤字斜字*** ；警報開始基準値を超過、***紫字斜字*** ；注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去 2 週、縦軸；定点当たり報告数）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数　（滋賀県、今週）

インフルエンザ定点（53医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	4	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	1
大津市保健所	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
草津保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
甲賀保健所	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東近江保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
彦根保健所	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
長浜保健所	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
高島保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

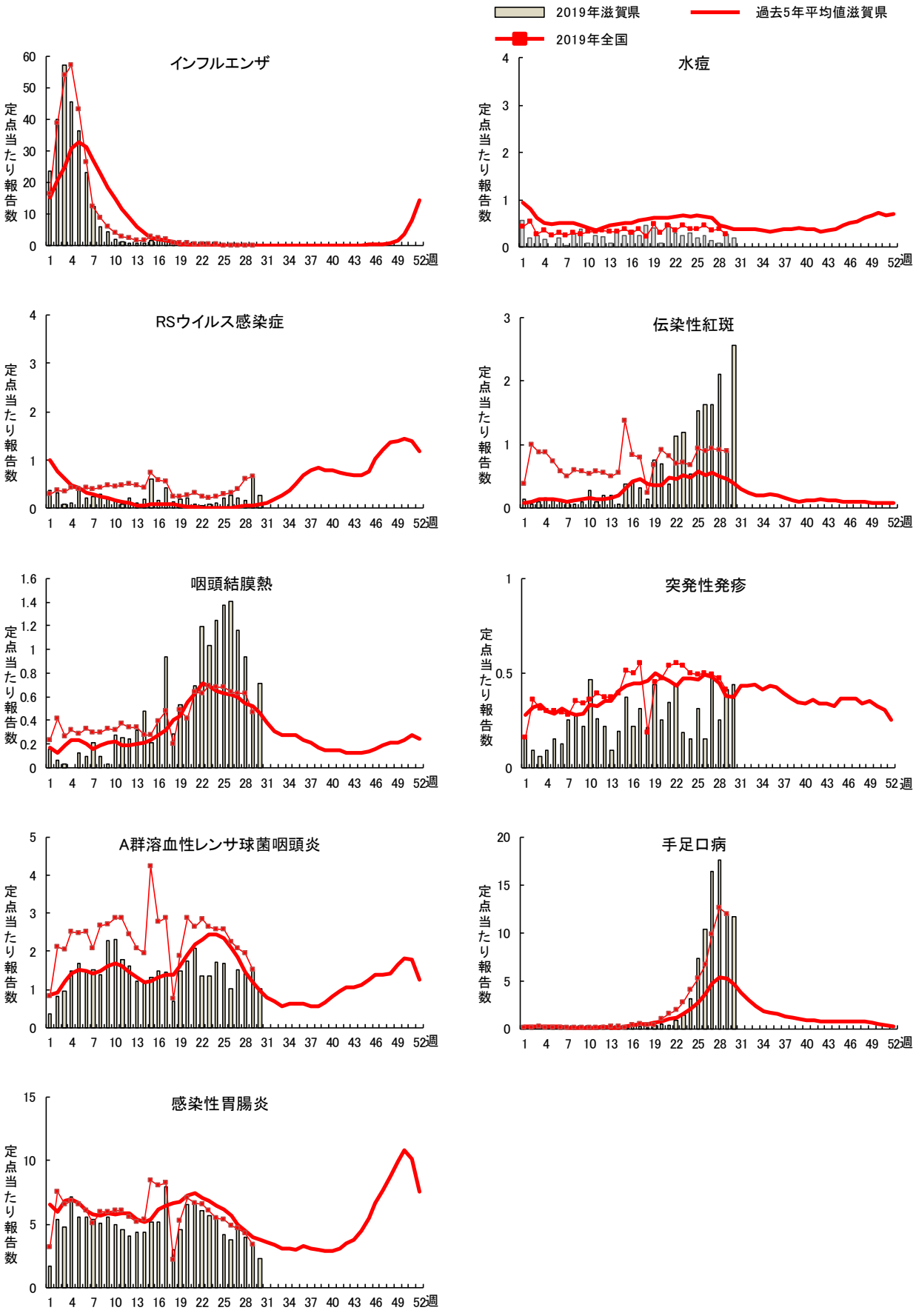
小児科定点（32医療機関）	総数	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	9	2	4	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱（プール熱）	23	－	1	3	3	4	4	6	2	－	－	－	－	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	－	－	2	4	4	2	4	5	5	3	1	2	－	1
感染性胃腸炎	72	2	4	11	8	9	10	6	5	2	7	2	4	－	2
水痘	6	－	1	2	－	1	－	1	－	－	1	－	－	－	－
手足口病	376	4	37	120	86	54	35	13	5	7	4	3	3	1	4
伝染性紅斑（リンゴ病）	82	－	－	3	4	10	14	12	17	8	3	7	3	－	1
突発性発しん	14	－	5	6	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	77	－	9	18	18	10	9	2	4	2	2	－	2	－	1
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－

眼科定点（8医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

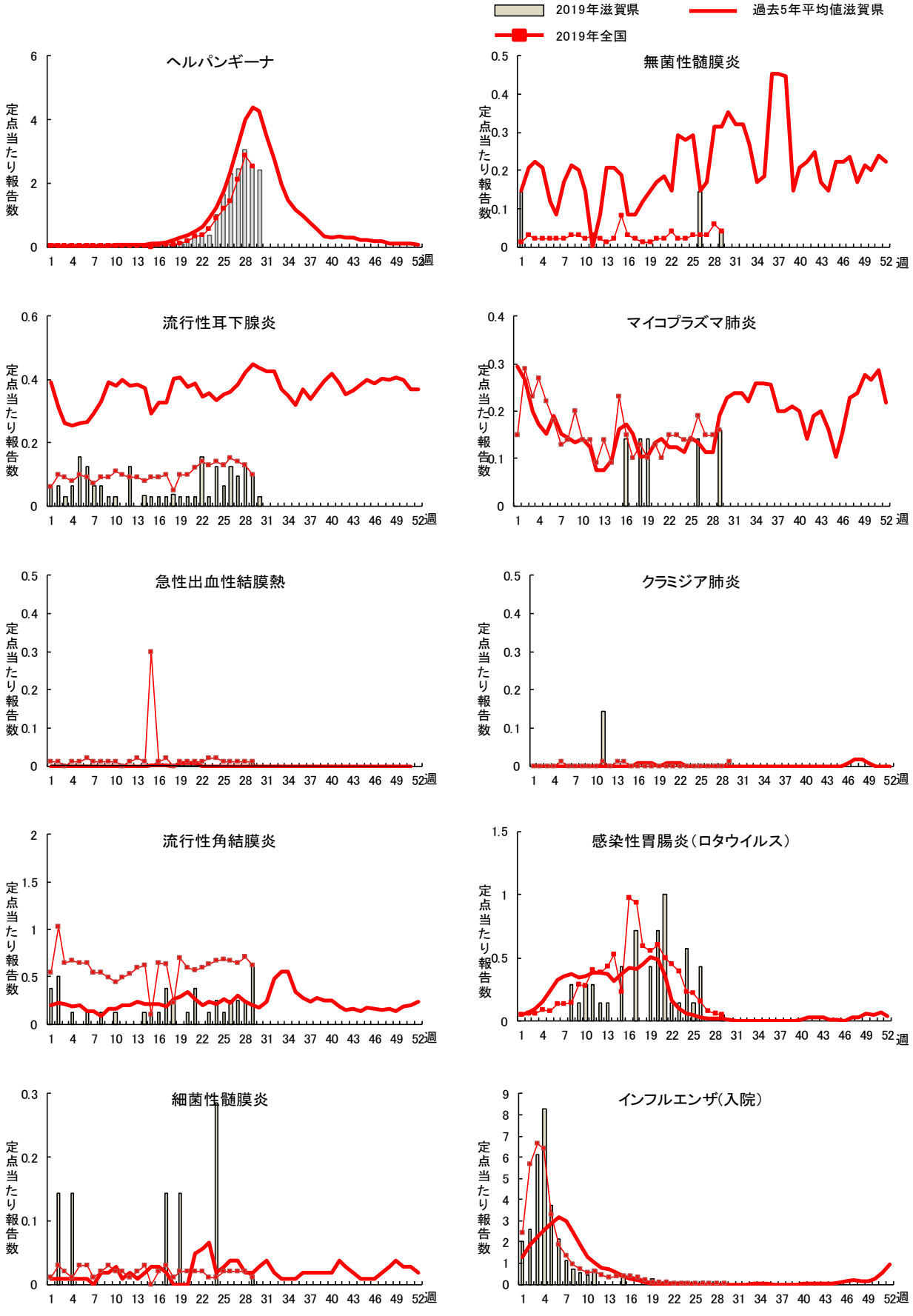
基幹定点（7医療機関）	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

「－」；　報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [v]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	30	草津	20歳代	女	無症状病原体保有者	草津保健所管内	−
	結核	30	東近江	90歳代	女	肺結核	−	−
	結核	30	東近江	70歳代	男	肺結核	−	−
	結核	30	東近江	80歳代	男	肺結核	県内	−
	結核	30	高島	40歳代	男	肺結核	県内	−
五類	アメーバ赤痢	30	草津	60歳代	男	腸管外アメーバ	草津保健所管内	−
	後天性免疫不全症候群	30	草津	50歳代	男	AIDS	国内	−
	侵襲性肺炎球菌感染症	28	草津	60歳代	女	−	国内	ワクチン一回接種
	百日咳	30	東近江	10歳代	女	−	東近江保健所管内	DPT4回接種
	百日咳	29	長浜	10歳未満	男	−	−	DPT4回接種

注目すべき感染症

食中毒注意報が発令されました（7/30（火）～8/5(月)）。

夏季に子どもを中心に増加する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱（プール熱）と伝染性紅斑の予防方法は、手洗いと咳エチケットが重要ですので、特に家族に風邪症状を認める場合は、ご家庭でも手洗いを強化することをお勧めします。

海外渡航を予定されている方は、渡航先の感染症情報や渡航前に接種が推奨されているワクチンについてご確認ください。

1. 「食中毒注意報を発令します」
   https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/306504.html
2. 手足口病
   (1) 手足口病とは（国立感染症研究所）
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html
   (2) Q&A(厚生労働省)
   https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html
3. ヘルパンギーナとは（国立感染症研究所）
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html
4. 咽頭結膜熱とは（国立感染症研究所）
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/adeno-pfc.html
5. 伝染性紅斑（国立感染症研究所）
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.htm
6. 海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所）
   https://www.forth.go.jp/news/20190409.html

[v] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(2019 年、全国は前週までの値) [vi,vii]

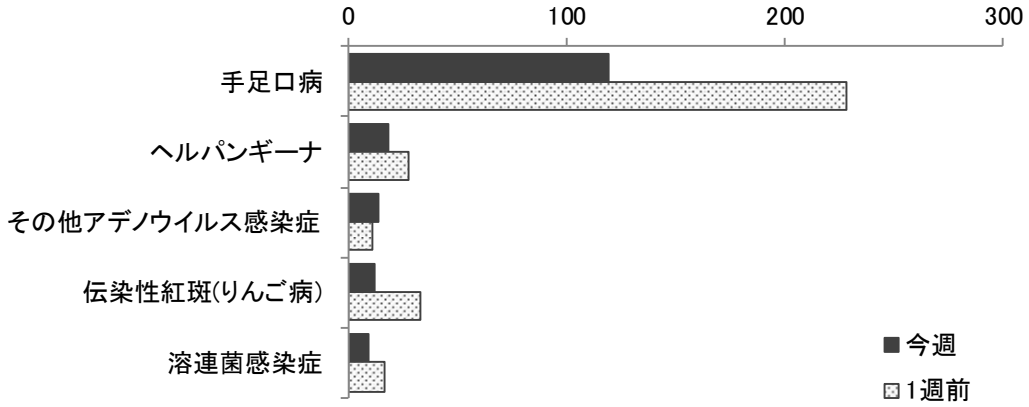
	疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国	昨年累積報告数	
		例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国
二類	結核	○	○	155	64	25	13	21	13	14	5	11725	235	21850
				10.97	18.76	7.37	9.01	9.19	8.33	9.04	10.28	9.24	16.63	17.21
三類	細菌性赤痢			0	0	0	0	0	0	0	0	54	2	268
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0.14	0.21
	腸管出血性大腸菌感染症	○		19	3	7	2	3	1	2	1	1460	30	3844
				1.34	0.88	2.06	1.39	1.31	0.64	1.29	2.06	1.15	2.12	3.03
四類	E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	302	2	442
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.24	0.14	0.35
	A型肝炎			2	0	1	1	0	0	0	0	260	1	925
				0.14	0	0.29	0.69	0	0	0	0	0.21	0.07	0.73
	重症熱性血小板減少症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	77
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0	0.06
	チクングニア熱			0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	4
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.00
	つつが虫病			0	0	0	0	0	0	0	0	81	1	455
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.06	0.07	0.36
	デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	176	0	201
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0	0.16
	日本紅斑熱			0	0	0	0	0	0	0	0	94	0	303
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.07	0	0.24
	レジオネラ症			10	0	2	0	2	2	3	1	1066	33	2130
				0.71	0	0.59	0	0.87	1.28	1.94	2.06	0.84	2.34	1.68
五類	アメーバ赤痢	○		7	3	4	0	0	0	0	0	478	5	838
				0.50	0.88	1.18	0	0	0	0	0	0.38	0.35	0.66
	ウイルス性肝炎	○		2	2	0	0	0	0	0	0	178	1	269
				0.14	0.59	0	0	0	0	0	0	0.14	0.07	0.21
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症			2	0	2	0	0	0	0	0	1080	11	2253
				0.14	0	0.59	0	0	0	0	0	0.85	0.78	1.77
	急性弛緩性麻痺	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	44	1	139
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0.07	0.11
	急性脳炎			1	0	1	0	0	0	0	0	540	4	657
				0.07	0	0.29	0	0	0	0	0	0.43	0.28	0.52
	クリプトスポリジウム症			0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	25
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.02
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1	0	0	0	0	0	1	0	100	6	219
				0.07	0	0	0	0	0	0.65	0	0.08	0.42	0.17
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		8	1	1	1	3	0	2	0	530	10	687
				0.57	0.29	0.29	0.69	1.31	0	1.29	0	0.42	0.71	0.54
	後天性免疫不全症候群	○		6	3	1	0	1	1	0	0	640	10	1292
				0.42	0.88	0.29	0	0.44	0.64	0	0	0.50	0.71	1.02
	ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	68
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.00	0.05
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	○	7	1	2	0	3	1	0	0	338	7	483
				0.50	0.29	0.59	0	1.31	0.64	0	0	0.27	0.50	0.38
	侵襲性髄膜炎菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	37
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0	0.03
	侵襲性肺炎球菌感染症			19	5	4	3	4	2	1	0	2125	41	3299
				1.34	1.47	1.18	2.08	1.75	1.28	0.65	0	1.68	2.90	2.60
	水痘(入院例)			0	0	0	0	0	0	0	0	271	5	461
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.21	0.35	0.36
	先天性風しん症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	○	○	21	9	2	2	7	0	1	0	3651	24	6923
				1.49	2.64	0.59	1.39	3.06	0	0.65	0	2.88	1.70	5.45
	播種性クリプトコックス症	○		1	1	0	0	0	0	0	0	83	2	178
				0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.07	0.14	0.14
	破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	67	0	130
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.05	0	0.10
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	45	2	79
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0.14	0.06
	百日咳	-	-	81	49	7	7	5	3	5	5	9381	141	11947
				5.73	14.36	2.06	4.85	2.19	1.92	3.23	10.28	7.39	9.98	9.41
	風しん	○	○	7	3	2	1	1	0	0	0	2004	12	2917
				0.50	0.88	0.59	0.69	0.44	0	0	0	1.58	0.85	2.30
	麻しん	○	○	8	1	3	1	0	0	3	0	662	1	282
				0.57	0.29	0.88	0.69	0	0	1.94	0	0.52	0.07	0.22
	薬剤耐性アシネトバクター感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	24
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.02

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値＋2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県、今週）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム（https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php）へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



【全国情報】 国立感染症研究所　感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査　週報（IDWR）	http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html
病原微生物検出情報（IASR）	http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html
インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）	http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/info/300857.html

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ＆クミ」